

女性自立支援事業【府中市】

個別事業費	155 千円
交付金額	115 千円

地域の実情と課題

府中市における女性の人口の年齢階級の中心は20～59歳となっており、結婚、育児、介護等の人生における生活の変化が大きい世代である。このような生活の変化がきっかけで就労環境、地域活動から離れた女性の再出発は、当市においても支援が必要と考える。また、多様化する市民ニーズにもこたえる必要性が高まっている。

事業の特徴

女性への支援に対する現状を把握するだけでなく、日頃より女性の支援を主に活動する団体同士の意見交換、つながる場の提供となる。

事業の効果

- ・参加者の81.3%が実施内容に対し「満足」と回答。
- ・団体同士の交流、情報共有の場となった。
- ・参加者数 28人

目的・目標

女性の自立を支援する団体を対象に、令和6年4月に施行される「困難な問題を抱える女性を支援する新法」について学び、日頃の支援活動の内容や課題等の意見交換を行う。また、団体同士がつながる機会を提供する場とする。
数値目標：講座参加者20人（令和7年度まで）

連携団体

近隣自治体

今後の課題

4月より施行された「困難な問題を抱える女性を支援する新法」の対応として、ワークショップ内で上がった支援活動における課題や意見を参考にしつつ連携体制を構築する必要がある。

事業の概要

【手法】ワークショップ実施

【対象】困難な女性を支援する団体（近隣市含む）

【個別事業名】女性の自立支援事業

【事業概要】セミナーの構成

- ①「困難な女性を支援する新法」について学ぶ（座学）
- ②どんな人が団体へ相談に来るか、どんな支援を必要としているか、支援するために何が必要かなど、各団体の現状を共有（ワークショップまたは発表形式）
- ③新法ができて、自分たち（各団体）は何ができるかの意見交換（ワークショップ）
- ④その他、活動に関するアイデアや情報の共有（ワークショップ）